



# 福谷章子のまちづくり通信

2013年4月号（平成25年4月14日発行）  
〒266-0031 千葉市緑区おゆみ野3丁目40-8 河野ビル213号  
e-mail: [fukutani2903@gmail.com](mailto:fukutani2903@gmail.com)  
ブログ: <http://fukutani.blog.ocn.ne.jp>

編集・発行 千葉市議会議員 福谷章子（未来創造ちば）  
tel&fax 043-312-2903  
ホームページ: <http://fukutani-office.com>  
ツイッター: <http://twitter.com/shoukosan>

## 今年度も苦心参ったんの予算編成

新年度予算は、地方交付税が減額となる一方、少子超高齢化の急速な進展による社会保障費などの増加に加え、防災・減災対策の強化も求められるなど大変厳しい予算編成でした。169億円の財源不足には事業費の削減や徴収対策の強化、自主財源の確保などとともに、市債管理基金からの借入に頼らざるを得ないなど、依然として厳しい状況が続いています。将来世代のためには、可能な限り基金借入に頼らない、安定的で持続性のある財政運営を目指し、財政健全化に向けた取り組みを強化するよう要望しました。

第1回定例会（2月20日～3月15日）において、平成25年度の予算が決まりました。予算化された主な事業をご紹介します！

### ●防災対策

**正確な情報把握と発信:**災害情報の一元管理と配信が可能となる「災害情報共有システム」の運用が開始されます。

**地域防災力の強化:**自主防災組織設置助成 30箇所、避難所用発電機 287台、簡易組立式トイレ 60台など

**帰宅困難者対策:**備蓄品の整備、啓発の実施

コメント) 災害発生時に何より重要なのは正確な情報収集と発信です。

### ●自転車マナーアップフェスタ

自転車利用者による交通ルール違反の撲滅とマナーアップを図り、安全利用のための講習会や、警察や関係団体と連携し、様々な切り口により、子どもの安全と大人のマナーの向上を図るためのイベント開催

コメント) 近年、自転車が関係する交通事故は、事故全体の4分の1を占め、走行中の交通ルール無視やマナー違反が指摘されることも多くなっています。また、自転車関連事故の約8割を高校生以上の年齢層が占めるとともに、大人の自転車マナーが問題となっていることから、大勢の市民の方々に参加していただきたいと思ひます。また、従来の安全教育についても見直しを求め続けています。

### ●在宅医療の核ともなる公立病院

両病院再整備基本構想や海浜病院再整備基本計画の見直し:  
シンポジウムやワークショップの開催  
青葉病院:救急棟の整備  
海浜病院:がん治療のためのリニアック棟の増築 放射線治療装置の導入

コメント) 海浜病院の設備の老朽化に伴う、建て替えを含めた再整備が必要と考えますが、今後、市民とともに両市立病院の役割と将来についての検討が速やかに進むことを期待します。その際には、病院機能の専門特化と共に、超高齢社会において在宅医療を支える地域医療機関の核としての公立病院の役割も重要であると考えます。

### ●不登校やひきこもりへのサポート

家庭訪問相談員:10人→12人  
スクールソーシャルワーカー:新たな取り組みとして2名配置

コメント) 昨年9月に文部科学省が発表した児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査結果では、不登校児童生徒数は昨年に比若干減少してはいるものの、小学校では2年連続で増加傾向です。不登校及び引きこもりがちな児童生徒の学校生活や社会生活への復帰を支援するためには、個に応じたきめ細やかな対応を期待します。

### ●低炭素社会の構築目指して

公共施設へのLED照明を試験導入:美浜区役所  
住宅用太陽光発電設備設置費の助成:500件→700件  
家庭用生ごみ減量処理機購入費補助等の補助枠の拡大  
家庭ごみ手数料徴収制度を導入:0.8円/1ℓ(26年2月より)

コメント) 焼却ごみの削減については、これまでも様々な施策を展開し、ごみの減量に取り組んできたところです。家庭ごみ手数料徴収制度を導入することについては議論がありましたが、今後、焼却ごみの更なる削減や再資源化の推進、市民意識の向上に期待します。また、手数料収入の全額をリサイクル推進基金に繰り入れ、市民要望の多い資源物・不燃ごみの祝日収集や、高齢者等へのごみ出し支援などの支援策や併用施策に基金を充てることは、用途が明確になり有益であるとともに、ごみ処理サービスを拡充するものと期待します。  
説明会も丁寧に開催されます。町内自治会やマンション管理組合を対象とした説明会を6月中旬から開催、自治会未加入の方や、上記の説明会に参加できない方を対象にした説明会を、9月中旬頃から開催予定です。各種団体やグループで説明会希望の方は、廃棄物対策課まで。場所や日程は、市政だよりやHPでご確認ください。

### ●内部事務改革と情報化

庁内横断的に改善に取り組み、窓口の一本化をめざす。  
市民の利便性を高めるインターネットを利用した公共施設予約システムの導入  
市民に役立つ公共情報の活用や経済活性化などに結びつくオープンデータの推進

コメント) オープンデータの取り組みは先進的であり、新産業の創出や経済の活性化のみならず、市民サービスの向上や市民の主体的な活動に寄与することを期待します。

### ●バラマキではない高齢者施策を

地域見守り活動支援:10件→20件  
特別養護老人ホームの整備:41施設→45施設  
在宅生活へのサービスの充実:認知症サポート、訪問看護や定期巡回など複合サービス事業所への助成  
介護ボランティア制度:高齢者による介護ボランティアへのポイント制度導入  
敬老会開催助成:一人当たり650円→開催経費の3/4を補助

コメント) 敬老祝い品の配布は中止となりました。その一方で地域見守り支援の助成枠を増やし、定期巡回・随時対応サービスや複合型サービスの導入を促進しています。限られた財源を、在宅医療や介護基盤の充実という地域包括ケア体制の構築に向けた動きとして評価します。

### ●新たな制度と待機児童の解消

千葉市子ども・子育て会議の設置:公募市民を含めて20名程度で就学前や学童保育などの事業計画を策定  
子育てコンシェルジュの配置:中央区と稲毛区  
一時預かり・特定保育・病児保育の拡充、認可外保育施設への助成、グループ型小規模保育の拡充

コメント) 多様化する就労形態などに伴う保育需要への対応として、「先取り」プロジェクトを導入するなど、さまざまな保育制度を取り入れています。今年度の待機児童の現状とともに、保育の質の確保など見守っていききたいと思ひます。

### ●こどもの参画事業

子ども・若者のカフォーラム、こどものまち、こどもカフェ:388万円

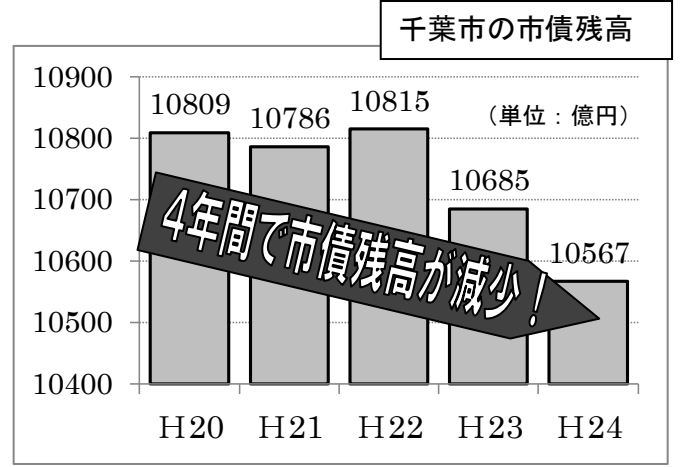
コメント) 児童や若者がひきこもりがちになる前に、意欲をもって社会生活に臨めるように支援することが社会的な課題です。子どもの幸せの状態は、人から必要とされていると感じることではないかと思ひます。子どもたちに対して、あなたたちを必要としているという社会からのメッセージを発することが大切であり、そのことを伝える一つの手立てとして、こどもの参画事業があります。しかしながら、こどもの参画の理念は、子どもに関する活動に携わっている方々に浸透しているとは言い難い現状です。ガイドラインを示すなど、丁寧に伝えるとともに、こどもの参画の考え方を取り入れた子どもの居場所（一般的には児童館ですが）として、こどもカフェの拡充が必要です。



ローマは一日にしてならず 熊谷市政の継続を！

平均寿命男性 79.4 歳、女性 85.9 歳という超高齢と人口減少を併せ持つ社会では、生産年齢人口の激減による税収減少は誰の目にも明らかで、経済的に豊かになることだけを追求しても、社会の発展につながらないことは自明です。

熊谷市長は、就任以来一貫して、適正かつ公正な税配分のあり方と、公平な負担について問題提起をし、行政サービスのあるべき姿について、あらゆる手段を用いて市民と対話を重ね、財源が不足する中で真に必要な市民サービスを工夫して提供する努力をしてきたと考えます。この4年間で、財政健全化への成果も表れ始め、市債残高もようやく減少へと向かい始めました(グラフ参照)。しかしながら依然として厳しい財政状況です。今後は、さらなる市民との対話を重ね、市民の英知と力を引き出し、市民研究員など市民が課題解決に向け参画する仕組みが必要であると考えます。



オープンデータの活用や、使いやすい補助金のあり方などを検討し、市民がまちづくりに一番参加している千葉市を、ともに創っていきましょう。



ごみ手数料徴収制度と併せて実施する施策

- 不法投棄・不適正排出対策  
(監視カメラの貸出:6月～、ステーション看板の配布:4月～、不法投棄監視パトロールの強化:4月～、不適正排出への指導強化:12月～など)
- 資源物・不燃物の祝日収集:2014年2月1日～
- ごみ出し支援事業  
(ごみ出し困難な高齢者・障害者世帯のごみ出しを行う地域団体等に活動支援補助金:12月～申請受付)
- ごみステーション管理支援  
(ごみステーション管理に積極的に取り組む自治会等にステーション管理補助金:10月～申請受付)
- 使用済み小型家電の分別回収:2013年10月以降に実施

しよーこさん 日々の想い

いじめ・体罰の問題と女性の参画

「強い弱いを越えて相手を尊敬し、広く開かれた組織になって多種多様な意見を取り入れる。そこから始めることが大切です。」

という言葉が目にとまりました。

日本女子柔道界の指導者の暴力行為を15人の選手がJOCに訴えたことにより表面化した問題について、山口香さんが朝日新聞のインタビューに答えたものです。加納治五郎が説いた柔道の修行は、形、乱取り、講義、問答。そこから、講義と問答を一部の人たちが省略してしまったことにより、柔道が自分を磨き自立するための「道」から、戦闘目的の「術」になってしまったと、山口さんは指摘しています。このことは、柔道に限らず、どのような領域でも起きている現象ではないかと思ひ当たります。議会の議論においても目先の方法論に終始して、そもそも何のため？誰のため？ということがすっぱり抜けているのを感じるがあります。それは、「術」にとらわれ過ぎて「道」を忘れてしまった状態なのだと気づきました。

思考が硬直している。それを正していくためには、何が必要か。山口さんはこう続けています。

ダイバーシティという言葉がありますが、今は多様化の時代です。いろんな視点が必要で、女性もその一つ。・・・本当に柔道を愛しているのは、強くなくてもずっと続けた人だと思ひます。そういう人を尊敬し、適材適所で力を発揮してもらおう。キーワードは「リスペクト」と「オープンマインド」。

その後、この言葉は冒頭の文章に続くのです。

そこで、気づきました。女性が意思形成過程に加わることの意義は、ジェンダーの視点ではなくダイバーシティの視点で語らねばならなかったのだと。女性に限らず、子どもや障害のある人の参画によって、社会の思考は、硬直から柔らかな発想へと変わっていくのを期待します。

**未来創造ちば 議会報告&意見交換会**

4月21日(日) 16:00~17:30  
生涯学習センター 研修室 (千葉市中央区弁天3丁目)

第一部 議員による議会報告  
第二部 千葉市の未来について語り合おう  
ゲスト 熊谷俊人千葉市長

地方分権から、地域内分権へ

地方分権が言われて久しいですが、その中でも地域内分権が課題です。地域内分権とは、「自分たちの地域は自分でつくる」ために、より住民に身近なところに、権限を移譲することです。

政令市においては、区への権限移譲もその一つです。また住民にも意思決定のための組織や財源が必要です。

【区への権限移譲】

昨年は、区長の本会議場への出席、予算決算分科会での答弁が行われるようになり、さらに、区の独自事業の予算も拡大されました。

緑区の場合、平成24年度は570万円だったものが、平成25年度は910万円に増加しました。それらはどのように使われるのでしょうか。

緑区の計画では、以下のようになっています。

- ・地域活性化支援事業
- ・防犯ウォーキング
- ・緑区合同パトロール
- ・緑区区民対話会
- ・緑区ふるさとまつり
- ・チュールアップまつり
- ・魅力発信
- ・芸術文化交流
- ・都市部住民と農業生産者の交流
- ・こども防災体験

【住民組織や財源は？】

地域には、町内自治会などの地縁団体、NPOなどの課題解決団体などさまざまな組織があります。これらの組織や個人が利害を超えて話し合いをし、地域の意思を決定していく場が必要です。また、住民が自らまちづくりを行うためには、そのための財源も必要です。今年度から全区で、地域活性化支援のための財源が準備されました。たとえば緑区では、下記のようなものです。

緑区地域活性化支援事業に手を上げよう！

市民の主体的な活動のために準備されたのが、地域活性化支援事業の予算です。昨年までの、緑区区まちそだて事業が、今年は3種類になり、支援事業を公募しています。

- (1)対象事業
- 地域づくり活動支援事業  
地域課題解決や地域活性化に資する地域づくり活動 上限20万円
  - 区テーマ解決支援コース  
区が設定したテーマに基づき実施する地域づくり活動  
＜平成25年度テーマ＞  
・「地域コミュニティの促進」 ・「住みやすいまちづくり」
  - 地域拠点支援コース  
地域課題解決や地域活性化に資する地域づくり活動を行うための拠点の整備及び確保
- (2)申請団体の要件
- ・区内で活動する町内自治会、ボランティア団体、市民活動団体、NPO法人、市内の高等学校の生徒及び学生又は大学の生徒及び教員で構成される団体(以下「学生等」といいます。)、商業団体等であること。
  - ・1年以上継続して活動している、又は今後1年以上継続する活動が見込める団体であること。団体の事務所が千葉市内にあるもの。団体の事務所がない場合は、代表者が千葉市内に居住しているもの。

いずれも締め切りは4月26日です。  
お問い合わせは、緑区地域振興課地域づくり支援室 電話:292-8105へ

**大前研一 熊谷俊人 千葉市の未来を語る**

4月27日(土) 13:00~14:30  
京葉銀行文化プラザ (千葉駅前)

第一部 大前研一講演「クオリティ都市という戦略」  
第二部 対談「千葉市の未来を語り合う」